

令和2年度 学校評価

宮崎県立小林秀峰高等学校

	今年度の取組	自己 評価	学校 関係者 評価	講 評
1 「学ぶ姿勢」の育成を図り、基礎学力の定着と進路保障に努める	①日々の授業をととして「学ぶ姿勢」の育成を図る	B	B	○コロナ禍の中であったが、個々に応じた柔軟な対応により高い進路決定率を維持している。 ○資格取得についてもよく取り組んでる。
	②研究授業の推進、充実を図り、授業の工夫・改善に努める	B		
	③多様な資格取得、学科間のコラボレーションの推進を図る	B		
	④多様な進路に対応し、生徒、保護者の希望が100%が叶うような指導体制の充実を図る	A		
2 充実した高校生活を送れるよう、一人ひとりを大切にされた日常指導の徹底に努める	①日常指導の徹底により、基本的な生活習慣の確立を図る	B	A	○秀峰高校の生徒は挨拶もよく、交通ルール等も守っている。 ○部活動の制限がかかる中、全国大会への出場は、地域の活力となる。 ○新しい生活様式の取組をよく行っている。
	②全職員で取り組み、家庭との連携を図りながら生徒指導体制の充実を図る	A		
	③学業との両立を図りながら、部活動の活性化を推進する	A		
	④組織的な教育相談体制の充実を図る	B		
3 組織力の強化と教育・職場環境の整備と充実を努める	①縦・横の連携強化による組織体制の充実を図る	B	B	○ICT機器の整備に伴う教育活動の充実を期待したい。 ○時代に合った校則等の見直しを行っている。
	②生徒が安心して学べる教育環境の整備、充実に努める	A		
	③危機管理体制(防災・事故等)の確立と防災意識の醸成	B		
	④職員の心身の健康に配慮した働きやすい環境づくりに努める	B		
4 地域との連携を推進し、地域に活力を与え、信頼される学校づくりに努める	①学校行事等を通して、保護者や地域との連携を強化する	B	A	○地域と連携した学習活動は地域も含め広くPRできている。 ○コロナ禍の中であったが、中学校訪問等、積極的な活動を行った。
	②積極的に情報発信と提供を行い、地域に開かれた学校づくりに努める	B		
	③地域行事への参加や地域活性化の取組への協力など、積極的に地域貢献を推進する	A		
	④中学校との連携を強化し、入学希望者の勧誘募集に努める	B		

【自己評価】A 目標を十分に達成できた

B 目標に向けて取り組んだ

C 目標を達成できなかった